

監査の結果に 対する措置

令和4年度に実施した監査結果に基づき講じた措置について、茂原市教育長から通知がありました。内容は、次のとおりです。

- ◆監査の種類 定期監査
- ◆措置年度 令和5年度

＜教育委員会＞

美術館・郷土資料館

【監査結果】

- ・生涯学習施設については、より多くの人に利用してもらえよう、時代や生活スタイルの変化を的確に捉え、利用状況や市民ニーズを把握しながら更なる利便性の向上に努められたい。また、従来の利用形態や規則等にとらわれることなく、場合によっては見直しも視野に柔軟な対応を図りながら利用率の向上についても鋭意取り組まれない。
- ・ウイズコロナ・ポストコロナを見据えた中で、新しい生活スタイルに応じた事業実施が必要であることから、新し

い生活スタイルとは何かを明確にしたうえで各施設間の連携を図りながら様々な対応方法を検討し、より進んだ生涯にわたる学習機会の提供に取り組まれない。

- ・市立美術館については、県内に数少ない貴重な施設であることから、本市を訪れるきっかけとなるような様々な工夫を凝らすとともに、繰り返し訪れてもらえるよう来館者の満足度向上に向け鋭意取り組まれない。
- ・収蔵している文化財や民具については、子どもたちの郷土に対する理解を深めるため、学校への貸与等による活用を検討されたい。

【措置内容】

- ・利用率の向上につなげる取り組みの一つである展覧会の映像配信については、今年度より、各共催団体の展示についても実施しているほか、新たにロビーに設置したモニターにて過去の映像をリピート再生しており、映像配信自体のPRと共に当館へのリピーター確保につなげていく。
- 多目的利用としては、今年

度はロビーコンサートとお茶会のイベントを美術企画展の開催期間中に実施予定である。また、利便性の向上のため、桜まつり期間のイベント開催時の開館時間延長についても、今後試行的に実施する予定である。

- ・新しい生活スタイルに応じた事業として、美術収蔵品については資料のデジタル化が完了し、国立アトリサーチセンターが無料で行っている「全国美術館収蔵品サーチ」に、収蔵品の全データを提供済みである。令和6年3月末から一般公開の予定であり、生涯学習の機会の一つとして、美術収蔵品についてのデジタル情報提供が実現できる見込みである。
- ・本市を訪れるきっかけとなる取り組みとしては、今年度は2月から開催予定の美術企画展「鳩川誠一展」がある。「千葉県誕生150周年記念事業」の一環として実施する中で、県の団体旅行造成支援事業に参加希望の旅行会社から当館企画展を観覧したいとの連絡が入ってきている。

に向けた取り組みの一つとして、今年度は、小学校6年生までの子どもたちの自由な作品を発表する機会として「もばら子どもギャラリー」を初開催し、若い世代の方々へのアピールにつながったと考えられている。

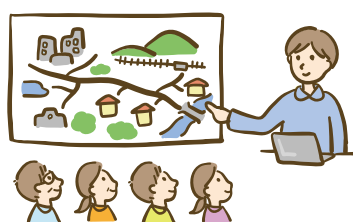
- ・市内小中学校への郷土資料の貸出しについては、教職員の研修や出前講座の開催時を利用して推奨している。最近では、小学校の「中堅教諭等資質向上研修」において、当館での現場研修を希望する方がおり、その中で郷土資料の収蔵庫を見学してもらったところ、資料の貸出しについて希望があった。今後は、各学校の担当教員に、直接郷土資料を見学できる機会を設けることなどにより、更なる活用につなげていきたい。

問合せ

監査委員事務局（9階）
☎(20)15660 FAX(20)16007

職員出前講座を 「活用ください」

教育委員会では、学習機会の拡大を図り、市政に関する情報を提供する目的で市の職員が講師として出向き説明する事業を実施しています。自治会活動等の学習にぜひお役立てください。



◆対象

市内在住・在勤・在学の10人以上の団体

◆講師料

無料（教材費等が必要な場合あり）

※詳しくは、生涯学習課ウェブページをご覧ください。



問い合わせ

生涯学習課（9階）
☎(20)15559 FAX(20)16007